

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度) ～「地域とともにある学校づくり」を目指して～

○連携・協働

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、**学校と地域の連携・協働**の重要性が指摘されています。

共有

輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という**目標やビジョンを共有することが重要**です。

○社会総掛かり

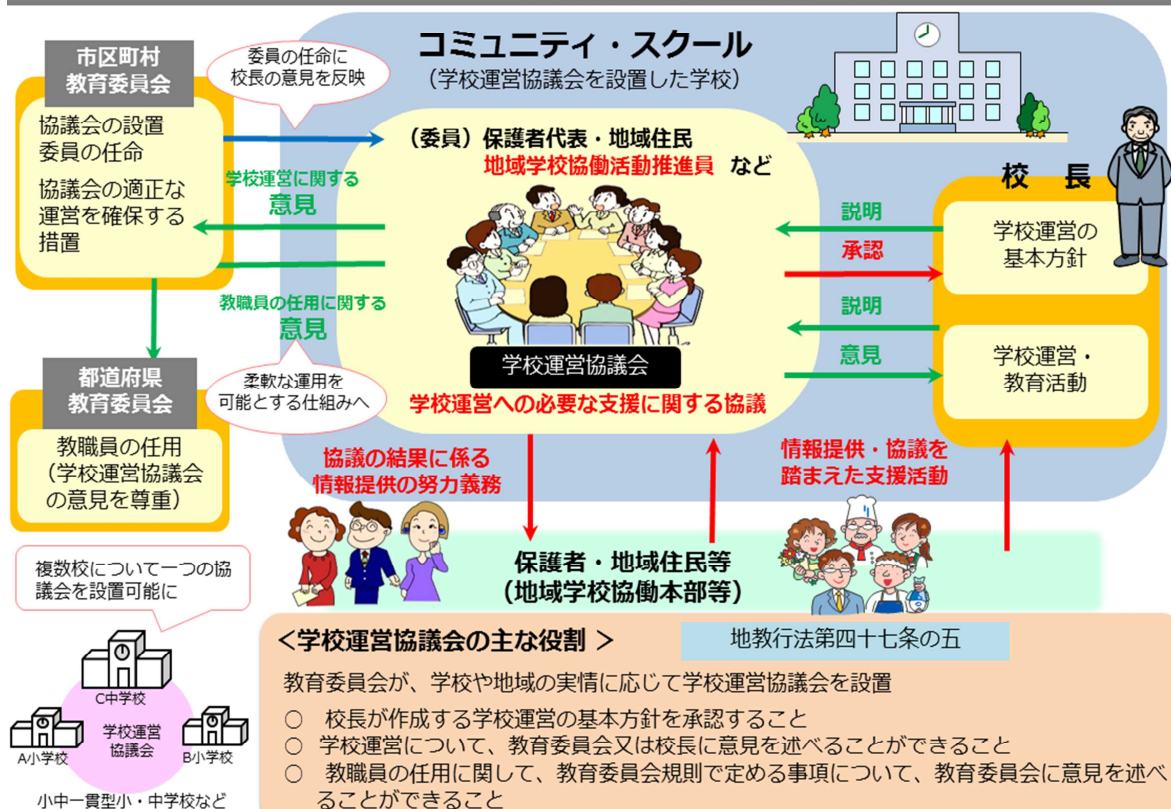
子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠です。

○地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への**転換**を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは学校運営について地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクールとは＝「**学校運営協議会**」を導入した学校

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



コミュニティ・スクールのつくり方(学校運営協議会設置の手引き) (令和元年度改正版)

コミュニティ・スクールの主な3つの機能
【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5】

○校長が作成する学校運営の基本方針を承認する

学校運営協議会では、校長の作成する「学校運営の基本方針」を通じて、**育てたい子ども像や目指す学校像等に関する学校運営のビジョンを共有します**。保護者や地域住民等の意向を当該方針に反映させることで、地域住民等が校長とともに学校運営に責任を負っているという自覚や意識を高めるとともに、学校運営の最終責任者である校長を支え、学校を応援することができます。

学校と協議会が対等な立場に立ち、お互いに当事者意識をもって、目指すところを共有し、協働へとつなげていくことが重要です。

校長は、承認された学校運営の基本方針に沿い、その権限と責任において教育課程の編成等の具体的な学校運営を行うことになります。

○学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

学校運営協議会は、**広く地域住民等の意見を反映させる観点から**、校長が作成した基本方針にとどまらず、当該学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して主体的に意見を申し出ることができます。また協議会委員からは、子供たちの教育や学校運営の当事者としての意見が得られ、学校だけでは気づくことができなかった学校の魅力や課題を共有することができます。

学校運営協議会が教育委員会や校長に対して意見を述べるときは、個人の意見がそのまま反映されるのではなく、保護者や地域住民の代表による**合議体としての意見を述べる**ことになります。

○教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

学校運営協議会は、**学校の課題解決や教育活動の充実のために校内体制の整備充実を図る観点から**、教職員の採用その他の任用に関する事項について直接、任命権者（都道府県・政令市）に対して意見を述べるができます。その内容はあくまで、学校運営の基本方針を踏まえ、**学校と学校運営協議会が実現しようとする教育目標等に合った教職員の配置を求めるためのもの**で、委員の個人的な意見や、特定の教職員を指すものではなく、また、校長の意見具申権そのものに変更が生じるものではありません。

邑南町のコミュニティ・スクールが目指す目標及び効果について

邑南町の目指すコミュニティ・スクールとは、学校運営に関する基本方針の承認などを通じて、学校のビジョンを共有し賛同するとともに、地域が学校と一定の責任を分かち合い、ともに行動する体制のことと考えています。

コミュニティ・スクールが目指す目標とは、**学校と地域が「育てたい子ども像」や「何を目指していくのか」といった目標やビジョン、課題を共有し**、教育の充実や児童生徒の健全育成のために協働することです。これは、地域の活性化にもつながっていくと考えています。

コミュニティ・スクール導入のメリット

○学校がコミュニティ・スクールを導入するメリット

- ・学校の課題や現状を地域に理解してもらえる
- ・学校運営に対して新しい視点を加え、より良い案や策と一緒に考えてもらえる。
- ・特色ある学校づくりにつながる
- ・教職員以外の人脈が増えたり、ボランティア活動が活性化する。
- ・地域の将来を見据えたこれからの教育を行うことができる
- ・子どもたちの社会力が増す

○地域側がコミュニティ・スクールを導入するメリット

- ・地域の困りごとや課題を学校と共有できる
- ・地域の将来を見据えた人材育成につながる
- ・地域全体の交流や協力意識が深まる可能性がある
- ・子供達が自分の住む地域を好きになってくれる
- ・子供との交流を通じて顔見知りになり、あいさつが自然と交わされるようになり、防犯にも繋がる。

ここにあげたメリットは、コミュニティ・スクールを設置すればこうなるわけではなく、**その地域の資源を活かし、目的とビジョンを共有し、しっかりと運営しようと努力・継続した先にあるものです。**

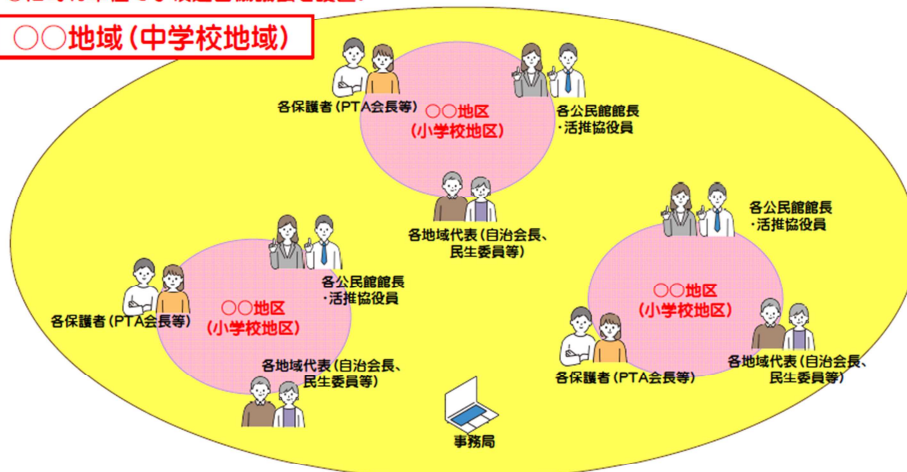
学校・家庭・地域が相互理解や信頼関係を深めることが大切

邑南町のコミュニティ・スクールのイメージ

学校運営協議会設置のイメージ

○旧町村単位で学校運営協議会を設置。

○○地域(中学校地域)



協議会の委員は各地区より選出する。

旧町村単位の小中学校の運営方針を各地区の委員で承認したり、意見を述べる(各地区の委員は小学校のみならず、中学校に携わる者も選出する。)

旧町村単位(中学校エリア)で学校運営協議会を設置します。協議会委員は地区単位(小学校エリア)より選出しますが、その際委員は小学校に携わる人のみならず、中学校に携わる人も選出します。「地域で育てたい子ども像」を全体で共有しつつ、地域内各中・小学校の運営方針を全体で協議の上、承認や意見を述べることであります。

○学校運営協議会委員の構成について(案)

協議会の委員については、以下の方から任命することとしています。

- ・保護者
- ・地域住民
- ・学校の運営に資する活動を行う者
- ・その他

邑南町のコミュニティ・スクール

学校運営協議会



地域住民や保護者等
が学校運営に参画

- ◆ 学校運営の基本方針の承認
- ◆ 課題解決のための具体的な手立てを協議
- ◆ 協議内容や活動を公開

構成員の例

保護者代表、民生児童委員・民生委員、公民館長、地域コーディネーター、学識経験者
その他地域の実情に合わせて選出

一体となって協力

学校に対する地域の活動



学校運営協議会での協議
を踏まえた活動を実施

- ◆ ふるさと学習などの授業への協力
- ◆ 登下校の見守りやあいさつ運動の実施
- ◆ 放課後等における子どもへの学習支援や体験活動の実施
- ◆ 保護者向けの家庭教育・子育て講座の開催
- ◆ 祭りなどの伝統芸能への子ども参加 など

積極的な取り組み

地域と学校が
同じ目標に向
かっていける

積極的な取り組み

共通の目標